

2024. 12. 7 発表会を通して好きを表現する

先週のミニ発表会を経て、今週 11～13 日にかけて各学年のなかよし発表会がありました。

ミニ発表会では、他の学年の子供たちがお客さんとなって、発表をしました。

そして、いよいよ本番。子供たちなりに緊張感をもちつつも、保護者の皆さんから温かく見守られながら、自分の「好き」を表現するいい時間になりました。

年少さんでは、乗り物にのって登場したり、ペットを連れて歩いたり。また得意のジャンプや鉄棒を披露したりする子もいました。宇宙が大好きな子は自慢のロケットを見せてくれたりもしました。

鉄棒を披露してくれた年少さんの様子を見て、年長の T 君が「僕の教えた『鉄棒バイク』の技だ!」ととても嬉しそうに言っていました。自分の「好き」が小さい子たちに広がっている手ごたえをも感じています。

宇宙人に変身した女の子は、去年お兄ちゃんが年長で宇宙人役をしたのもつながっているのでしょうか。また違った宇宙人に変身している姿もつながりも感じつつ、広がりもありとても素敵でした!

年中さんは、テレビの番組という設定で、いろいろな遊びがステージ上に登場します。

ヒーロー大好きな子たちによるヒーローショー。

踊りが大好きな子たちによるダンスショー。

その他にはお家ごっこを楽しむ子たちやサッカーを楽しむ子。

新幹線大好きな子たちはステージ上にてライブで作るところを見せてくれました。

それぞれの「好き」を友達と一緒に表現することを楽しんでいる姿がいろいろなところで見られました!

年長さんは、鉄棒大好きな子たちによる鉄棒ショー。一人技から 5 人技までいろいろな技を披露します。

ダンスチームは、踊りだけでなくランウェイを歩いて、手作り衣装も観客に披露しました。

他には、ある男の子が先生役となつての体操遊びをするグループ。笛を鳴らして遊戯室を走ったり、ブリッジや側転を見せてくれたりします。

ボール遊びが大好きな子たちは、得意のボールつきを披露したり、ボールを的に当てて倒しながら、そのコントロール、投力を見せてくれたりしました。

ロケット研究所のメンバーは、作ったロケットについて詳細な情報を調べてみんなに説明してくれました。また工作大好きメンバーは、自分の作ったポケモンのキャラクターを問題にして会場の人に答えてもらうクイズショーをおこないました。

今年は発表会を今までの全学年劇遊びというものから変え、一人一人の「好き」をもっと大切にしたい発表会にしようと職員で話し合い、子供たちとともに作ってきました。もちろん今までの劇遊びの中にも子供たちと相談しながら好きなことを表現できる場として作ってきましたが、多様な子供たちが集まる中で、よりみんなが楽しめる発表会というものも模索しているところでもあります。

本日の年長保護者の皆さんからは、「子供たちが自分の心から湧きあがってくるエネルギーを心置きなく発表できたことの喜びを感じているように見えた」「日ごろからこんなにイキイキと遊んでいるんだろうと想像できた」「発表中にハプニングがあっても子供たち同士でその場で相談し合って解決していこうとする姿も素敵だった」など温かいご感想もいただきました。

一人一人の「好き」や「やりたいこと」を誰かに伝えたり、表現したりするという経験を通して、さらに自分の中で「好き」が広がったり、周囲の「好き」を見ることで、いろいろな「好き」に触れたりする機会になるとい

いなと考えています。この発表会にむけてのプロセスの中で、また遊びが広がり、「好き」なものが自分の中で増える、新たな世界に出会っていく、そのような価値ある時間にこれからもしていきたいです。

